

# 妊婦HIV検査95.3%

## 厚生省研究班が調査

エイズウイルス(HIV)の母子感染予防に重要な、妊婦のHIV検査の実施率は昨年度、全国で平均95.3%の病院で平均95.3%で、この二県を含め95%以上は二十五都府県であった。これに対し最も低かったのは宮崎の56.4%。岩手76.3%、青森76.8%などがそれに次ぐ低さで、地域によって大きな開きがあった。

また、年間の出産取り扱い件数が少ない施設は研究班の調査で四日分

調査の実施状況を尋ね、約97.2%で全国平均を上

調べる「スクリーニング検査」と呼ばれる一次検査

### 前年度より0.6%上昇 地域格差最大で2倍

った。

調査した国立病院機構 施設が回答。都道府県別 実施率が低い傾向が明らかになり、年間出産数が百件未満の病院の7.9%が検査をしていなかった。一方、産科医一人当たりが取り扱う出産件数と実施率の関係を調べたところ相関は低く、実施率が低いのは医師不足が原因とは言えないことが分かった。

### クリニック

HIV母子感染の予防HIVに感染している妊婦が予防策を取らずに出産した場合、生まれてくる赤ちゃんに感染する確率は20-25%といわれる。しかし妊婦への抗HIV薬の投与や、帝王切開による出産などの対策を講じることで母子感染を0.5%程度にまで減らせるため、妊婦健診で